

生と死をつなぐケア

これからの地域ケア・看取りケアを考える!

老いとぼけに関わるヒトの世界は、真面目で滑稽な出来事であふれています。そこから創られる介護に希望はあると思います。27年目を迎え、ふたつの宅老所とひとつの特養を運営する「よりあい」の現状とこれからをご報告します。

浦和

2019年

13:00

日時: 10月16日(水) ▶▶16:30

会場: 埼玉建産連研修センター
(202 会議室)

(埼玉県さいたま市南区鹿手袋 4-1-7)
☆JR「武蔵浦和」駅東口より徒歩8分

(むらせ たかお)

講師: 村瀬 孝生

特別養護老人ホーム「よりあいの森」施設長。



1964年、福岡県飯塚市生まれ。東北福祉大学を卒業後、特別養護老人ホームに生活指導員として勤務。1996年から、「第2宅老所よりあい」所長を務める。2015年4月より現職。著書に『ほけてもいいよ』(西日本新聞社)『看取りケアの作法』(雲母書房)など多数。

プログラム

介護を地域に還す — ひとりを支援するケア

とにかく施設に鍵をかけません。行動を抑制するために薬漬けにすることもしません。そのためには、施設から外に出て歩くお年寄りの見守りを、地域住民のひとりひとりをお願いします。その積み上げが地域ケアを創る可能性を持っています。さらに、地域ケアは労いを生むのです。

看取りケアの作法 — 暮らしの中にある死

看取りは、あくまで暮らしの延長線上にあります。スタッフは合宿しながら、その臨終を家族と共有してきました。日頃から五感をフルに活用して「体を触る介護」は、寿ぎのある死に着地します。医療からもっとも遠い場所でこそ、人間的な看取りが可能となるのです。

*受講票はお送りしません。満員でお断りする場合のみ一週間以内にご連絡さし上げます。

【受講料: 5,000円】

*受講料は当日会場で承ります。

主催

なるほどケア塾

〒189-0011

東京都東村山市恩多町 3-39-13-101 榎門窓社内

お問い合わせ

☎042-306-3771

お申し込みはこちらへ Fax

Fax: 042-306-3772

<参加人数>

<参加者名>

*施設の場合は施設名もご記入ください。

10/16(水) 浦和
()名

<住所>〒

(自宅・職場)

<TEL>

<FAX>